



コース：学校改善マネジメントコース

---

【出題の意図】

選挙権年齢が満18歳に引き下げられ、令和4年度から民法に規定される成年年齢が満18歳に引き下げられたことを念頭に、小・中学校の段階から指導の充実を図ることが求められる主権者教育について、日本の学校教育を担う教員として、具体的にどのような実践イメージを持つのかを問う問題となっている。

第一に主権者教育の必要性や社会の情勢を踏まえた理解について、第二にこれまでに現任校で実践してきた、あるいは実践できそうな取組みについて、具体的に記述できること、第三にそれらの具体的な取組みが「主権者教育」としてどのように意義づけられるのかについて論理的に記述できることが期待される。